

## 【11月以降の活動予定他】

11月27日(日) 国際交流バスツアー  
行先：神戸市内

12月 国際理解講座「外国人実習生と日本語教室」

講師：萩森 健治

1月 多文化共生交流会

## ◆学島小学校でインドネシアの勉強 萩森 健治

9月29日(木)、学島小学校にインドネシアの二人をお招きし、交流体験学習を行いました。学習の目的は、児童たちに、地域に住む外国人との交流を通して言語や文化の違いに興味を持たせ、今後も積極的に交流してみたいという意欲を持たせることです。

小学校では3年生19人が迎えてくれました。講師は川島町に住むインドネシアのアリさん、ワフェさんで二人とも

健祥会の介護施設で介護士として働いています。

お話はワフェさんが担当し、アリさんは持参したパパイヤの葉、キャッサバ、

冷凍ドリアン、リュウガンの実を見せながら解説しました。インドネシアの人口は日本の約2倍の2億4千万人、面積は日本の5倍もあるそうです。ジャワ、スマトラ、ボルネオ島など1万以上の島々から構成され、約300の民族がいて、

それぞれ言語が異なるとのこと。インドネシアには、トラ、オランウータン、コモドドラゴン、イボシシ、サイなどや絶滅危惧の野鳥などが

多くいるそうで、スライドで紹介してくれました。また、パパイヤ、ドリアンなどの食べ物は実物を持ってきて見せてくれ、



ワフェさん(左)とアリさん(右)



キャッサバを見せるアリさん

児童たちは興味津々。ドリアンは日本では2kgくらいのものは5,000円程するそうです。大きな団扇状の飾りを背負って踊る祭りや、大きな袋に子どもが入って徒競走する遊びなども紹介しました。児童からは、日本の好きな食べ物は？インドネシア料理の店が徳島にありますか？女性には頭に何かかぶっていますか？なぜかぶ



恐々ドリアンに近づく児童

っているのですか？などたくさん質問がありました。最後に、勇気ある上岡先生や児童らがドリアンの試食に挑戦。思ったほど臭くなく、甘みが強くておいしかったとのことでした。

学島小学校で国際理解授業を行うのは今回が初めてで、児童たちは大喜び。後藤田校長先生をはじめ多くの先生も参加されました。ワフェさん、アリさんとも日本語が上手で、講演も上手でした。このような異文化体験を通じて、国際的な意識がはぐくまれることが期待されます。



## ◆浴衣着物着付け体験

安部 正美

10月2日に浴衣着物着付け体験を文化研修センターで実施しました。

浴衣が19着、打掛14枚、かつら2個、羽織袴3着と美しい衣装が準備されました。

打掛は石井町で「手芸の店おがわ」を経営されている小川和美さんからお借りしました。小川さんは、友人らと「しげちゃんスマイル」という名前で芸能的ボランティア活動をされ、老人ホーム等に慰問に出向かれています。その衣装をお借りできないかと昨年お願いしましたら、快くOKしてくださり豪華な着付け体験ができることになりました。

当日は外国人の方が38名集まり、萩森会長がくじ引きを用意して1番の人から順に自分の好みの浴衣を選び、参加した交際交流協会の会員全員で着付けをお手伝いしました。浴衣の上に打掛をはおり、皆さん綺麗なお嫁さんになりました。スマホでお互いに写真を撮りあい、すごく盛り上がりました。

アトラクションとして、平岡香織さん(つながり支援ピアサポートとくしま)のお琴の演奏があり、綺麗なお琴の音色に耳を傾けて、演奏後は興味津々でお琴に触れさせて頂きました。次に渡部真弓さんが羽織袴姿で日舞を披露してくださいました。皆さんは初めての体験に大喜びされておりました。ふとした思い付きに協力してくださる方や喜んでくださる方がたくさんいて、今回も大盛況で本当にうれしく思いました。皆さんありがとうございました。



## ◆浴衣着物を着て、とてもうれしかった

フン・ティ・タオ

皆さん、こんにちは、私は、タオと申します。ベトナムから来ました。日本に6年間住んでいます。

日本の伝統衣装である着物・浴衣を着て参加できてとても嬉しかったです。その日は、同じクラスの異なる国からのたくさんの友達がいました。みんなでカラフルな衣装、着物、浴衣を着ました。それは本当に美しいです！時代劇の宮殿で登場人物に扮した気分でした。誰もが笑顔で写真を撮り、その素晴らしい瞬間を思い出として残しました。

でも着物は本当に履きにくいです。その時ふと思っ

たのですが、昔から日本人はどうやってこんなに精巧で美しい衣装を考え、作ることができたのでしょうか。本当に感心！

また、アーティストの楽器を演奏する扇子ダンスも楽しみました。とても上手に踊り、とても上手に楽器を弾いていま

した。最後に、日本に住んで働いている外国人に日本語を教えるだけでなく、異なる国の文化を交換する機会を与えてくださった教室の先生方に感謝したいと思います。ここは私たちの第二の故郷のようなものです。有難うございました。



## ◆来年もまた参加したい

デウィ ラ プトリアディ (エラ)

この活動に、いろいろな国の方が参加しました。そして着物や浴衣など、さまざまな種類の日本の伝統的な服



を知ることができました。浴衣や着物には沢山のパーツがあることを知りました。そして、パーツを使っての着方を学ぶことができました。とても興味深いと思います。

伝統的な衣装だけでなく、この活動では日本の伝統的な楽器を紹介してくれました。そして実際に、参加者全員が楽器の演奏方法を直接試すこともできました。先生が着物を着て伝統舞踊を披露してくれました。とても印象的でした。来年もぜひ参加したいと思いました。

### 【国際交流バスツアー】

外国人の方とバスツアーで交流しませんか。

期日：11月27日(日) 7時~19時

行先：神戸市内(森林植物園、南京町、動物園)

費用：3,000円 定員：50名

申込み先：三原 ☎090-1008-2034

萩森 ☎070-5543-2842